



うちエコ診断 活用事例集

2023年3月

家庭エコ診断制度運営事務局
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

1. はじめに

うちエコ診断実施機関やうちエコ診断 WEB サービス利用団体は、様々なイベントやキャンペーンを実施してうちエコ診断を推進しています。

本事例集では、うちエコ診断を活用したイベントやキャンペーンを実施している団体のうち、「他者との連携」「ターゲットの選定」「自社の環境問題・社会貢献への取り組み」の面で、特徴的な事例を実施した5団体について紹介します。本事例集が参考となり、家庭エコ診断制度の更なる推進につながれば幸いです。

<目次>

1. はじめに	1
2. うちエコ診断を活用した事例	2
大学生や自治体と連携した市民への普及啓発	2
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)	
自治体職員と連携した市民への普及啓発.....	4
公益財団法人 淡海環境保全財団	
従来とは異なるターゲット層へのアプローチ	5
株式会社 ピーアールセンター	
中学生、高校生への家庭の省エネ・節電の普及啓発	6
大阪府堺市	
組合員家庭における省エネルギー化の推進	7
パルシステム生活協同組合連合会	
(参考1) うちエコ診断活用事例調査について	9
(参考2) うちエコ診断活用事例集 (2020 年度発行)	10

2. うちエコ診断を活用した事例

大学生や自治体と連携した市民への普及啓発

実施団体：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

■ 事例紹介①

名称	SDGs マルシェ
概要	SDGs マルシェは、SDGs への関心や認識の度合いに関係なく皆が集まる場です。出展者は、より幅広く多くの人たちに向けて、自分達の取組に関する広報や紹介を行います。 (公式サイト) https://www.shokei.jp/sdgs/marche/
実施体制	主催者：尚 綱 学院大学 ^{しょうけい} 協力：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク



図 イベントの様子¹

■ 事例実施にあたってのポイント

「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」との連携

- ✓ 主催者である尚綱学院大学は、「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に参加しています。
- ✓ 診断実施機関の理事長や職員が尚綱学院大学の関係者ということもあり、大学側からお誘いがありました。
- ✓ 省エネの観点から SDGs を学べる機会を提供することで、多角的な普及啓発を実施することができました。

<カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリションとは>²

文部科学省、経済産業省および環境省による先導のもと、カーボン・ニュートラルに向けた積極的な取組を行っている、または取組の強化を検討する大学等による情報共有や発信等の場です。

参加機関一覧はコチラ <https://uccn2050.jp/organization/>

■ 事例紹介②

名称	eco チャレンジみやぎ
概要	宮城県が実施する地球温暖化対策への理解と関心を高め、行動してもらうためのスマートフォンアプリを用いたキャンペーンです。地球温暖化対策につながる「エコアクション」（アクションメニュー）に応じたポイントが貯まり、素敵な景品が当たる抽選を行うことができます。 （公式サイト） https://eco.pref.miyagi.jp/
実施体制	主催者：eco チャレンジみやぎ運営事務局



図 eco チャレンジみやぎウェブサイト³

■ 事例実施にあたってのポイント

ポイントキャンペーンとの連携

- ✓ 本キャンペーンは、秋田市が実施する「あきエコどんどんプロジェクト」がベースになっています（対策メニューにうちエコ診断の受診あり）。
- ✓ 診断実施によって専用のポイントが付与されます。昨今、ポイントを貯める・活用することが一般的となってきたことから、このことが市民に受け入れられたのではないかと考えられます。

■ 実施団体について

団体の種別	地球温暖化防止活動推進センター（診断実施機関）
うちエコ診断のねらい	省エネの効果を受診者へ伝えることで省エネ・省 CO2、地球温暖化防止の理解を深めるとともに、当団体の活動を周知するきっかけとして活用しています。
うちエコ診断の今後の活用方法	家具を取扱うスウェーデン発祥の某企業と連携して、店舗でうちエコ診断を実施する予定です（2023年2月実施済み）。

1 出典：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク facebook <https://www.facebook.com/melon.miyagi/>

2 出典：カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション <https://uccn2050.jp/>

3 出典：eco チャレンジみやぎ <https://eco.pref.miyagi.jp/>

自治体職員と連携した市民への普及啓発

実施団体：公益財団法人 淡海環境保全財団

■ 事例紹介

名称	省エネ・節電行動実践促進事業
概要	市町や団体等と連携し、イベント活用会場等での「省エネ・節電提案会」や「うちエコ診断」を通じて、家庭における省エネ・節電行動の啓発促進を図ります。
実施体制	滋賀県地球温暖化防止活動推進センターが、県のうちエコ診断実施機関として認定を受けており、18名の診断士が登録しています。 発注元：滋賀県、運営：滋賀県地球温暖化防止活動推進センター 協力先：県内市町、滋賀県地球温暖化防止活動推進員



図 イベントの様子

■ 事例実施にあたってのポイント

まずは自治体職員が体験

- ✓ 事業の円滑な実施のため、推進員の地域グループ活動の一環で市町の職員が参加する会議を開催しており、そのような場で市町の職員にうちエコ診断の受診を呼びかけています。
- ✓ うちエコ診断にエコアクションポイントを付与する自治体なども出てきています。

■ 実施団体について

団体の種別	地球温暖防止活動推進センター（診断実施機関）
うちエコ診断のねらい	・省エネ対策の見える化事業として位置付けており、具体的な行動変容につなげています。 ・自治体環境基本計画の中の家庭の実践行動に結び付けて診断を行っています。特に自治体職員に率先して受診してもらうことで、職員自ら市民への受診をよびかけて普及拡大につなげています。
うちエコ診断の今後の活用方法	環境以外のイベント等で、関心の薄い層への啓発に活用したいと考えています。

従来とは異なるターゲット層へのアプローチ

実施団体：株式会社 ピーアールセンター

■ 事例紹介

名称	札幌市 夏の特別企画展
概要	気候変動による、世界の野生動物、北海道に生息する生き物への影響を知り、自分達にできることを考えるイベントです。
実施体制	主催者：札幌市環境局環境都市推進部

■ 事例実施にあたってのポイント

多様な人が集まる場の活用

- ✓ 主催者である札幌市が、イベントに活用できるコンテンツを模索していたため、うちエコ診断を提案しました。
- ✓ 従来とは異なる層にうちエコ診断を周知できたことは、大きな成果でした。
- ✓ うちエコ診断を別のテーマと連携させる際は、その関連性をしっかり説明することが、受診者との距離を縮めるために重要なポイントになると考えられます。



図 案内チラシ⁴

■ 実施団体について

団体の種別	サービス業（診断実施機関）
うちエコ診断の位置づけ	札幌市環境局と連携し、診断を通して市民の環境改善や家庭の省エネに寄与しています。なお、札幌市での取り組みを経て、他の自治体から診断実施の依頼がありました。
今後の展望	今後、ますます生活における支出が多くなっていく中で、ライフスタイルを見直し、少しでも支出を減らすことや、環境問題へ興味関心を持ってもらえるような、啓発活動を行っていきたいと考えています。

※4 出典：札幌市円山動物園 イベント情報「夏の特別企画展を開催します！」

<https://www.city.sapporo.jp/zoo/04event/r4/20220805natunotokubetuten.html>

中学生、高校生への家庭の省エネ・節電の普及啓発

実施団体：大阪府堺市

■ 事例紹介

名称	堺市出前講座 E-7 環境とおサイフにやさしい！「うちエコ診断」
概要	堺市内の大阪府立高校や堺市立中学校などに、「節約しながら、温暖化対策してみませんか？」をテーマに、日本のエネルギー事情を踏まえて家庭で簡単にできる省エネの取組と光熱費の削減効果についてお話ししています。

■ 本事例実施にあたってのポイント

学生から家庭へ

- ✓ 大阪府地球温暖化防止活動推進センターとの連携により、うちエコ診断を通して、各家庭に省エネ・節電に関するアドバイスを行っていました。
- ✓ 更なる普及啓発に資するべく、平成 28 年度から学生向けに出前講座を実施するようになりました。
- ✓ 出前講座には手軽さを前面に押し出した出前講座とするため WEB サービスを活用しています。

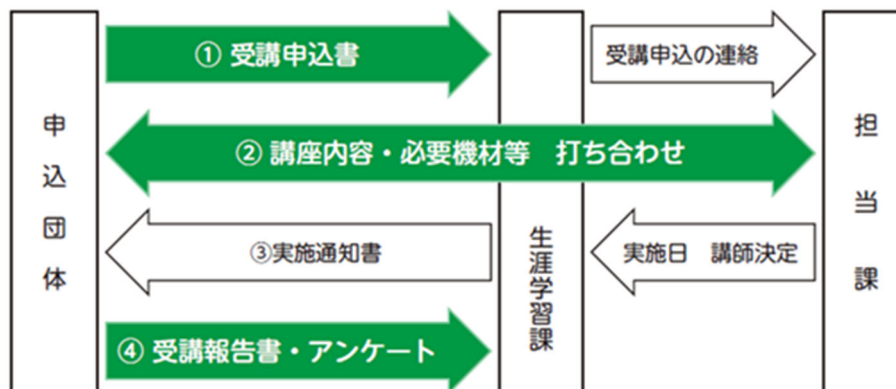


図 出前講座の流れ⁵

■ 実施団体について

団体の種別	自治体
うちエコ診断のねらい	堺市で行う出前講座において、家庭での省エネに関する取り組み事例を紹介するためにうちエコ診断を活用しています。
今後の活用方法	堺市出前講座等によるうちエコ診断の紹介を想定しています

5 出典：堺市 どこでもセミナー 堺市生涯学習まちづくり出前講座 令和4年度出前講座パンフレット

<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/shogai/demaekoza/index.html>

組合員家庭における省エネルギー化の推進

実施団体：パルシステム生活協同組合連合会

■ 事例紹介

名称	STOP 地球温暖化みんなで CO ₂ 1000t 削減にチャレンジ！ ～うちエコ診断 WEB 受診キャンペーン～
概要	パルシステム組合員（利用者）を対象に、うちエコ診断 WEB サービスの認知度向上と CO ₂ 削減を目指すキャンペーンです。応募者全員に産直産地のお米「エコ・秋田あきたこまち（無洗米）450g（3合）」の特典を設け応募を呼びかけました。 その結果、応募総数 2,799 名、年間 CO ₂ 削減量約 2,815t-CO ₂ 、1 世帯あたりの年間削減量平均約 1t-CO ₂ となりました。 （事例に関するウェブサイト） https://information.pal-system.co.jp/topics/220516-uchieco/ https://information.pal-system.co.jp/topics/220722-uchieco/

約700世帯分のCO₂を削減！「うちエコ診断でCO₂1000t削減にチャレンジ」結果発表 2022年7月22日

パルシステムでは、地球温暖化防止に向けて組合員家庭における省エネ行動を広げる取り組みの一つとして、2022年5月16日（月）～6月24日（金）に、家庭でできる省エネ対策・CO₂の削減効果を知ることができるキャンペーンを実施しました。



うちエコ診断WEBサービス画面

■ 取り組み結果

応募総数 2,799名

取り組みによる年間CO₂削減量 約2,815t

応募組合員の1世帯あたりの年間削減量の平均 約1t

年間を通じた省エネ対策を2,799名の皆さんが取り組むことで約700世帯分のCO₂削減につながるようになります。一人ひとりの省エネ取り組みが増えることで大きな削減になることが改めてわかりました。

※日本の1世帯が1年間に排出するCO₂は約3.97t（全国地球温暖化防止活動推進センターより）として算出

図 事例に関するウェブサイト⁶

■ 本事例実施にあたってのポイント

環境保全・資源循環型社会への貢献

- ✓ 本キャンペーンは省エネ対策に留まらず、産地の豊かな自然、生産者の暮らしを守る「米余り」にも対応し、持続可能な社会の実現につなげています。
- ✓ パルシステムグループでは、環境保全・資源循環型社会を目指した取り組みとして温暖化防止活動を推進しています。その一環で実施するうちエコ診断は、組合員家庭の省エネ化に大きく貢献しています。

**パルシステムグループ
環境・エネルギー政策 2030 アクション**

2023年3月31日制定

本文書は、「環境・エネルギー政策」を基に、2030年までの目指すべき目標や具体的なアクション内容について定めます。地球環境を取り巻く状況が著しく変化する中で、3年をめぐりに内容の見直しを行っていきます。

温室効果ガス削減アクション

目標 2050年に温室効果ガス削減目標を実質ゼロ(カーボンニュートラル)に向けて、施設・車両合算による温室効果ガス排出量※を2030年度に2013年度比で46%削減し、排出量【22,298t-CO₂】以下にします。「自らが使う電気相当量の再生可能エネルギーを創り、利用する」ことを基本の考えとし、2030年までに「温室効果ガス排出ゼロ」の施設および、配送モデル構築を目指します。※施設・車両合算

「減らす・止める・切り替える」アクション

目標1 事業で使うエネルギーは、効率化と最適化によりエネルギー消費を一層減らします。また、組合員家庭における省エネルギー化の推進を強化します。
●うちエコ診断士を活用した学習会の開催、うちエコ診断サービスWEB受診の促進、組合員家庭におけるCO₂削減量

目標2 脱原子力発電、持続可能なエネルギー政策を求める運動については、再稼働や次世代型原発の知見を深めながら、二度とおなじ過ちを繰り返さないために反対の意思を示していきます。組合員や多くの活動団体と連携し、社会的な広がりとなるよう、参加しやすく、共感が広がる活動に再構築します。

目標3 パルシステム電力の持続的な経営への転換を実現し、事業所と組合員家庭への再生可能エネルギーの普及に取り組みます。
●再生可能エネルギー利用率〇%、パルシステムでんき組合員数〇名

図 パルシステムグループ 環境への取組 気候危機と脱炭素（抜粋）⁷

■ 実施団体について

団体の種別	協同組合（診断実施機関）
うちエコ診断の位置づけ	パルシステムグループは2030年に向けて「環境・エネルギー政策」を改定しました。引き続き、組合員家庭の省エネルギー化を推進するためうちエコ診断を活用しています。
今後の活用方法	まずは「知ること・意識すること」で省エネが暮らしに浸透し、限りあるエネルギーを大切に使用できるよう、省エネに取り組む家庭を広げていきたいと考えています。

6 出典：約700世帯分のCO₂を削減！「うちエコ診断でCO₂1000t削減にチャレンジ」結果発表
<https://information.pal-system.co.jp/topics/220722-uchieco/>

7 出典：パルシステム生活協同組合連合会 環境への取組
https://www.pal.or.jp/csr/environment/global-warming.html?via=orjp_environment

(参考1) うちエコ診断活用事例調査について

本誌を作成するために、うちエコ診断実施機関を対象とした「うちエコ診断活用事例調査」を実施しました。ご協力いただいた、うちエコ診断実施機関およびうちエコ診断 WEB サービス利用団体の皆様に御礼を申し上げます。以下に本調査の結果を紹介します。

1. 調査概要

調査名称：うちエコ診断活用事例調査

調査対象：うちエコ診断実施機関（71 団体）

うちエコ診断 WEB サービス利用団体（26 団体）

調査項目：・団体について

・2021 年 4 月以降に実施したイベントについて

・2021 年 4 月以降に実施したキャンペーンについて

・自社の業務およびサービスとの関連について（営利団体のみ）

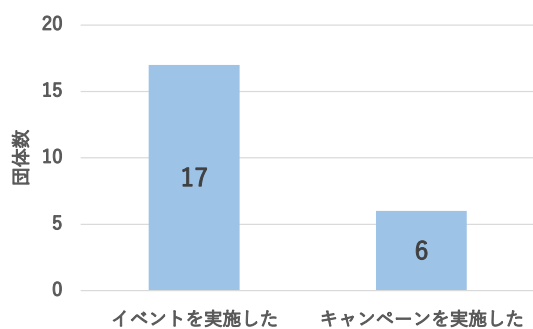
・うちエコ診断の効果および今後の展望について

回答数：うちエコ診断実施機関（29 団体）

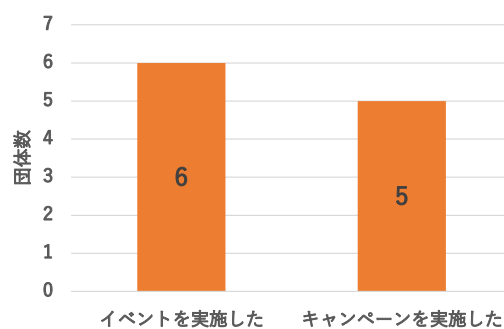
うちエコ診断 WEB サービス利用団体（12 団体）

2. 調査結果

① イベントおよびキャンペーンを実施した団体

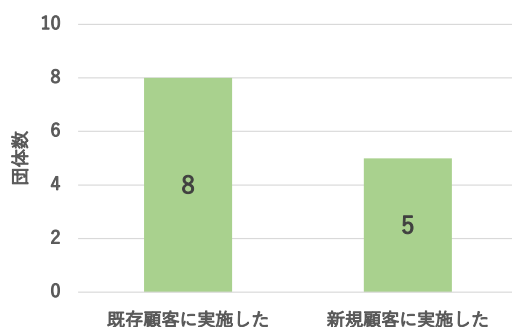


うちエコ診断実施機関



うちエコ診断 WEB サービス利用団体

② うちエコ診断をきっかけに自社の業務・サービスなどの提案を行ったことがある団体



(参考2) うちエコ診断活用事例集 (2020 年度発行)

以降は「うちエコ診断活用事例集 (2020 年度発行)」を掲載します。



うちエコ診断 活用事例集

家庭エコ診断制度運営事務局
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

はじめに

うちエコ診断事業を実施している団体（診断実施機関）のうち、自治体が診断を活用して事業を行っている事例や、民間事業者で継続的に事業を実施している事例をうちエコ診断の活用事例集として取りまとめました。

目次

1. 地域における診断の活用事例	2
愛媛県「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」	2
北海道札幌市「うちエコ診断」	11
2. 企業・団体による優良事例	19
北海道ガス株式会社	19
株式会社ビルド	23

目的に応じた活用事例

目的	団体
地域活性化を目的として、各市町村と地元の家電量販店と連携した事業として温暖化対策の普及啓発を実施	愛媛県
自治体として低炭素社会を実現するための計画を策定し、その中の家庭部門に対する具体的な施策として実施	北海道札幌市
顧客拡大を目的として、日常的なサービスの中で、中立的な立場の省エネ設備提案や生活改善アドバイスを実施	北海道ガス株式会社
顧客の維持、拡大、省エネ設備への更新等を目的に定期的にアプローチするツールとして診断を活用	株式会社ビルド

1. 地域における診断の活用事例

愛媛県「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」

市町、家電販売店と協力して、えひめクールチョイスを実践

◆取り組みの概要

○愛媛県では、「えひめクールチョイス大作戦」^{※1}の一部として、「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」で実施している。

○「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」では、うちエコ診断を受診した後、省エネチャレンジ対象期間中に、電気・ガスの節約に取組み、そこで計算された前年からのCO₂削減量に応じてポイントが各家庭に付与される。このポイント^{※2}は、省エネ製品購入時に使用できる割引券（店頭表示価格から3%～最大10%の割引）に交換することができる。

○獲得した割引券は、キャンペーンに協力している家電量販店で、省エネ製品の購入に利用できる。

※1「えひめクールチョイス大作戦」：県の事業で、「省エネにつながる行動」「自転車通勤」「温泉利用」の3つの「クールチョイス」を軸にした地球温暖化対策を、県民総ぐるみで実践するキャンペーン。

※2 ポイント獲得するために必要な電気・ガス削減量：

（電気）1.54kWh（約25円、光熱費単価を16円/kWhとして計算）、

（都市ガス）0.45立方メートル（約138円、光熱費単価を308円/m³として計算）、

（LPガス）0.15立方メートル（約108円、光熱費単価を720円/m³として計算）。



えひめクールチョイス大作戦
出典) 愛媛県ホームページ

◆事業の目的

愛媛県では家庭部門からの CO₂ 排出量を削減するために、「えひめクールチョイス大作戦」を実施している。「えひめクールチョイス大作戦」は、愛媛県の特徴を生かした3つの「クールチョイス」を軸とした「キャンペーン」を実施することで、愛媛県民総ぐるみで地球温暖化防止対策の実践につなげることが目的となっている。

「えひめクールチョイス大作戦」の中の3つの「クールチョイス」は、「省エネにつながる行動」「自転車通勤」「温泉利用」の3つとなっており、それぞれの取り組みを促進するために、「CO₂CO₂（コツコツ）がんばるキャンペーン」、「ツーキニスト拡大キャンペーン」、「温泉でほっ！とシェアキャンペーン」の3つのキャンペーンが行われている。

このうち、「CO₂CO₂（コツコツ）がんばるキャンペーン」では、省エネにつながる行動を促進させるために、うちエコ診断を受診してもらうことを提案している。



えひめクールチョイス大作戦の3つのクールチョイス
出典) 愛媛県ホームページ

◆取り組みに至る経緯

○市町と連携して県民総ぐるみの地球温暖化防止対策の実践へ

愛媛県では、県の事業として市町村と連携して推進できるものであれば、県民総ぐるみで地球温暖化対策の実践につながることから、市町村と連携できるテーマを検討していた。その中、うちエコ診断は排出削減効果を数値化でき事業効果を把握できること、さらに家庭部門の地球温暖化防止対策を進めるための有効なツールであることから、うちエコ診断を活用したキャンペーンを実施することとなった。

○家電量販店との連携に向けて

うちエコ診断を受診した後に家電量販店の協力のもと、ポイントに応じて割引券を発行する仕組みについては、事業計画の検討前に、県内の家電量販店に協力の可否についてヒアリングを行っていた。この際、家電量販店からは、10%程度の割引であれば協力可能との回答を得ていたため、キャンペーンを実施することができた。

◆事業の実施内容

●事業の実施にあたっての連携先と連携内容

○愛媛県内 20 市町と連携

愛媛県では、知事と県内全市町長が連携施策について直接協議する県・市町連携推進本部が設置されており、県・市町連携推進本部を通じて、様々な分野の事業を連携して実施している。

県内 20 市町と連携し、事業の広報実施と、各市町のロビーでの「うちエコ診断会」を開催した。広報としては、各市町のホームページや一部市町の広報誌に「うちエコ診断会」の開催日時を掲載。また、「うちエコ診断会」当日は、庁内放送の実施や住民課へ来庁する方へのチラシを配布してもらった。

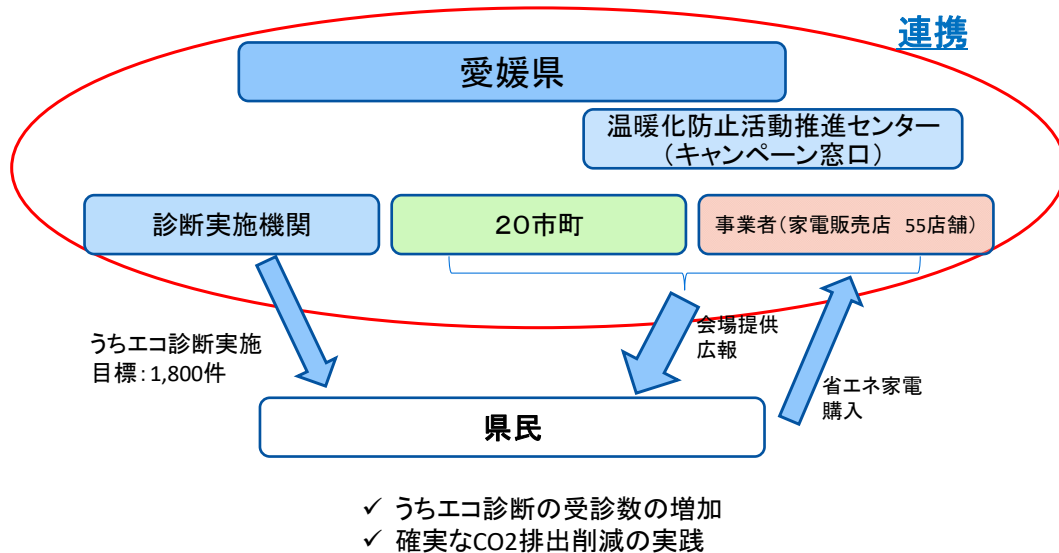
さらに、「うちエコ診断会」では、市町の職員にも診断を受診してもらっている。

○愛媛県内の家電販売店による協力

愛媛県内の家電販売店に平成 29 年度から省エネ製品購入時に使用できる割引券の利用先として協力してもらっている。

平成 29 年度からキャンペーンを開始するにあたって、平成 28 年 12 月頃から県の担当者が事業連携について事前相談を行っていたことで実現した。

●取り組み体制



● 診断の実施方法

「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」では、県内のイベントや市町による「うちエコ診断会」にて診断を実施した。いずれも、うちエコ診断はその場で受診家庭に事前調査の内容を聞き取り、入力する簡易診断で実施をしている。

（平成 30 年度は、イベント出展、「うちエコ診断会」を合わせて合計 85 か所で診断を実施。）

平成 30 年度は、約 30 回のイベントに出展し、うちエコ診断を実施している。出展するイベントは、環境関連のイベントだけでなく、大学学生祭や市町産業祭など様々なイベントに出展している。

イベント時のブースの出展内容としては、うちエコ診断の実施の他、地球温暖化防止関連のパネル展示も行っている。また、イベント時の実施体制としては、日あたり 2 から 3 名の診断士を派遣し、ブース運営補助として 1 名を配置している。なお、診断実施機関の職員が診断士資格を持っている場合は、補助要員のみで対応している。

平成 30 年度（2 月末まで）の受診割合は以下の通り。

市町ロビー展：640 人（約 40%）

市内イベント等：591 人（約 38%）

県内家電量販店：140 人（約 8%）

その他（企業・団体等）：190 人（約 12%）

● 受診者の募集方法

○ホームページへの掲載

市町の「うちエコ診断会」の開催日時は、各市町のホームページに掲載をしてもらっている。

○チラシの作成・配布

平成 30 年度は、愛媛県で約 20,000 枚のチラシを作成した。

配布先は、

-県内自治体、企業・団体、県内コンビニ及びスーパー等

-地球温暖化防止普及啓発イベント

-うちエコ診断受診者（キャンペーン全体を周知するために、受診者にも配布している。）

○受診者へのインセンティブの準備

平成 30 年度はインセンティブとして図書カードを配布した。図書カードとした理由は、①ノベルティとしての認知度が高いこと。②サイズが手ごろで携帯性が良いこと。③図書カードは（公社）愛媛県浄化槽協会の提供で、協会の公益目的事業である「地球温暖化防止等に関する事業」の一環として用意できたこと、④「CO2CO2 がんばるキャンペーン」の普及啓発を（公社）愛媛県浄化槽協会に委託していることから、図書カードの利用はキャンペーンの啓発拡大に資することから実現した。

その他、受診者へのインセンティブとしては、子供の興味を惹き、親や同伴者に声をかえやすいことからカプセルトイ（カプセル入りのおもちゃ）が有効であった。

○イベント会場や「うちエコ診断会」での声かけ

イベント会場では、インセンティブの紹介とともに、来場者に個別に声かけをして受診を呼びかけている。市町の「うちエコ診断会」では、診断会当日に庁内放送で診断会のアナウンスを実施してもらっている。

◆取り組みのポイント

1. 「えひめクールチョイス大作戦」
えひめクールチョイス大作戦とは、愛媛県の特徴を生かし、「省エネにつながる行動」「自転車通勤」「温泉利用」の3つの「クールチョイス」を軸にした地球温暖化対策を、愛媛県民総ぐるみで実践するキャンペーン事業。それぞれの取り組みは相互に連携しており、家電量販店や旅館組合等に協力してもらうことで、プレゼントキャンペーンを実施している。「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」は、えひめクールチョイス大作戦の中に位置づけされている。
2. 県内の20市町と連携
愛媛県では、知事と県内全市町長が連携施策について直接協議する県・市町連携推進本部が設置されており、県・市町連携推進本部を通じて、様々な分野の事業を連携して実施する素地ができていた。
「えひめクールチョイス大作戦」、「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」の協力への呼びかけを行い、20市町村との連携が実現。市町では広報や会場準備を担当。
3. 地域の家電販売店55店舗の協力
「CO2CO2（コツコツ）がんばるキャンペーン」を実施する際に、愛媛県内の主要な家電量販店に声かけを行い、地域の家電販売店55店舗の協力を得た。
4. イベント診断や市町職員への診断を実施
うちエコ診断の実施は、イベント診断の方法で実施しており、イベント会場で当日来場者に呼び掛けて受診してもらっている。受診すると割引券が付与されることや、診断後にプレゼントなどのインセンティブをもらえることが、受診するきっかけとなっている。
イベント診断のほか、県内市町の環境部局に勤めている職員の方を対象に、診断を実施した。

◆今後の展望

うちエコ診断の実施目標として、平成32年度までに3,500世帯を受診目標として推進していたが、すでに目標を上回ったところから、5,700世帯の目標として上方修正した。

平成31年度は、各市町やイベント会場等で地球温暖化防止の普及啓発事業を実施する予定であり、その中でWEB版うちエコ診断システムを紹介し、さらなる普及を目指す予定としている。

●事業予算額

平成 30 年度 3,650 千円（愛媛県単独の予算）

●診断実績

平成 28 年度 758 件
平成 29 年度 1,607 件
平成 30 年度 1,571 件

◆事業実施の様子

イベント出展の様子



えひめ暮らしと住まいフェア



愛媛3R企業展



松山東雲女子大学祭り

市町の「うちエコ診断会」の様子



愛南町



四国中央市



東温市



新居浜市



内子町分庁

◆広報物等



CO₂CO₂がんばるキャンペーン!

省エネ家電の買い替えをしませんか!

省エネチャレンジで **最大10%割引** 店頭表示価格より

対象商品

省エネ基準 100%以上の対象商品



炊飯器 DVDレコーダー 電子レンジ 電気洗濯機
エアコン ストープ ガス調理器 テレビ

省エネ基準 72%以上の対象商品



電気冷蔵庫 電気冷凍庫
LED電球・照明 節水シャワーヘッド

CO₂CO₂がんばるキャンペーンの流れ

1 うちエコ診断を受診

うちエコ診断って?
各家庭の光熱費やCO₂排出量を「見える化」し、各家庭に応じた省エネ・省CO₂対策を無料で提案します。訪問による診断のほか県内イベント会場等で診断を実施しており、事前申込不要で、その場で受診できます。

うちエコ診断イベント情報は愛媛県HP(QRコード参照)をご覧ください。



2 電気・ガス使用量を削減

対象期間: 夏季 平成30年8月～9月
冬季 平成30年11月～12月

前年同期間の使用量と比較し、削減量に応じてポイントを付与

ポイント数	割引率
1P～ 49P	3%割引
50P～ 99P	5%割引
100P～ 149P	8%割引
150P～	10%割引

☆1ポイント獲得の目安
電気 : 1.54 kWh 削減
都市ガス : 0.45㎡ 削減
LPガス : 0.153㎡ 削減

3%割引分の割引券(ポイント証明書)を獲得 削減量に応じた割引券を獲得

3 割引券交付窓口へ申請書(裏面)を提出

申請期間: 平成30年5月14日①～平成31年2月28日②

添付書類: 対象期間と前年同期間の電気・ガス使用量が確認できる書類(電気・ガス統計票等)

最大3回申請可能

① H30年度にうちエコ診断を受診し申請 ② 夏季に電気・ガスを削減し申請 ③ 冬季に電気・ガスを削減し申請



郵便・FAX・メールのいずれかで申請

4 割引券の提示で、協力店(裏面)で対象商品が割引に

購入期間: 平成30年5月14日①～平成31年3月11日②

※協力店により、割引上限率が異なりますので県HPでご確認ください。

割引券交付窓口 愛媛県地球温暖化防止活動推進センター
松山市辻町2-31

キャンペーンお問合せ 愛媛県県民環境部環境局環境政策課

TEL 089-925-2661 FAX 089-925-2654
E-mail gyoumuka@e-jyoukasou.com

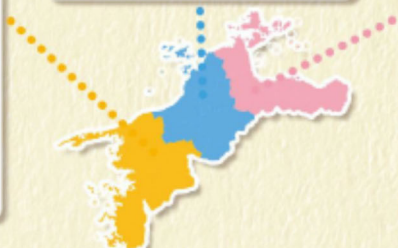
TEL 089-912-2349 えひめクールデバイス大作戦 後援



CO2CO2 がんばるキャンペーン協力店一覧

このキャンペーンは下記事業者の協力のもと実施しております。

<p>南予</p> <p>宇和島市</p> <p>エディオン 北宇和島店 ケーズデンキ 宇和島店 ヤマダ電機 テックランド宇和島店</p> <p>八幡浜市</p> <p>アールワンデンキ エディオン フジグラン北浜店 テラダ電機サービス ベスト電器 ミヤタ保内店 雨音ラジオ店 (有)八千代電気商会 (株)やまだい ワケデンキ</p> <p>大洲市</p> <p>エディオン 大洲店 ケーズデンキ 大洲店 ヤマダ電機 テックランド大洲店</p> <p>西予市</p> <p>(有)熊塚電販 ヤマダ電機 テックランド西予店</p> <p>内子町</p> <p>宮内無線</p> <p>愛南町</p> <p>高橋電気</p>	<p>中予</p> <p>松山市</p> <p>エディオン 松山平田店 エディオン 松山本店 エディオン 南松山店 オオインデンキ (株)カタオカ電機 ケーズデンキ 松山問屋町店 ケーズデンキ 松山藤原店 橋電化センター 電化ショップ マルコー メルタスIYO 忠實電器 ヤマダ電機 テックランドNew松山問屋町本店 ヤマダ電機 テックランド松山本店</p> <p>東温市</p> <p>エディオン フジグラン東温店 (有)コロナ音響社</p> <p>松前町</p> <p>エディオン エミフルMASAKI店</p>	<p>東予</p> <p>今治市</p> <p>エディオン 今治本店 ケーズデンキ 今治店 パルテ電器(株)(パルテ かどた) ヤマダ電機 テックランド今治店 (有)澄祥電化</p> <p>新居浜市</p> <p>エディオン イオンモール新居浜店 エルふたば東城 ケーズデンキ 新居浜店 ヤマダ電機 テックランド新居浜店</p> <p>西条市</p> <p>ケーズデンキ 東多店 ケーズデンキ 西条店 (有)簡製器商店(ノガベ電器) ダンジョウ電気 (有)寺町電器商会(パルテ 寺町) デンキのトクナガ (有)真鍋電気店 (有)セイケ電器(メルタスえひめ セイケ) ヤマダ電機 テックランド西条店</p> <p>四国中央市</p> <p>エディオン 四国中央店 エム・クレル(有) 川江電器冷蔵(株) ケーズデンキ 四国中央店</p>
---	--	--



割引券(CO2CO2がんばるポイント)交付申請書

申請期間
H30.5.14
↓
H31.2.28まで

下記の「CO2CO2がんばるポイント交付申請書における個人情報の取扱い・注意事項」をご確認いただき、氏名、連絡先等必要事項をご記入の上、下記割引券交付窓口へ郵送、FAX、E-mailのいずれかでご提出ください。

申込日：平成 年 月 日

ふりがな お名前 (うちエコ診断受診者)	住所			〒	愛媛県	連絡先(TEL)
うちエコ診断受診先を☑してください	<input type="checkbox"/> 機アリックス	<input type="checkbox"/> 愛媛県地球温暖化防止活動推進センター	<input type="checkbox"/> 機DCMダイキ	<input type="checkbox"/> その他 御記入ください		
申請方法を☑してください	<input type="checkbox"/> うちエコ診断受診のみ (平成30年度受診者のみ申請可)		<input type="checkbox"/> 夏季(8~9月)にCO ₂ を削減 (証拠書類を添付してください)		<input type="checkbox"/> 冬季(11~12月)にCO ₂ を削減 (証拠書類を添付してください)	

CO2CO2 がんばるポイント交付申請書における個人情報の取扱い

愛媛県地球温暖化防止活動推進センターは、本事業で収集するすべての個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、以下に掲げる目的のみ使用いたします。また、収集した個人情報を愛媛県以外の第三者に開示・提出することはありません。

- ① CO2CO2 がんばるポイント交付業務実施における「うちエコ診断実施機関」への申請者確認業務
- ② CO2CO2 がんばるポイント交付業務実施に伴う申込書確認業務
- ③ CO2CO2 がんばるポイント証明書交付業務
- ④ CO2CO2 がんばるキャンペーン結果及び効果検証のための各種データ分析業務

注意事項

- ・うちエコ診断受診の確認ができない場合、割引券の交付ができませんので、予めご了承ください。
- ・対象商品1つの購入にあたり、割引券の適用は1枚までとなります。
- ・協力店で省エネ製品を購入する際は、あらかじめ割引券を提示してください。

*なお、申請書については、県HP (<https://www.pref.ehime.jp/h15600/coolchoice/co2co2.html>)でもダウンロードできます。

割引券交付窓口(申請先)

愛媛県地球温暖化防止活動推進センター
(公益社団法人 愛媛県浄化協会)

住所：愛媛県松山市辻町 2-31
TEL:089-925-2661
FAX:089-925-2654
E-mail:gyoumuka@e-jyokasou.com

北海道札幌市 「うちエコ診断」

省エネ・節電を楽しむ「さっぽろスマートライフ」を目指して「うちエコ診断」を実施

◆取り組み概要

○札幌市では、平成 27～31 年度（2015～2019 年度）を計画期間とした「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」※1 を策定。この中で、「さっぽろスマートライフ推進事業」としてうちエコ診断等を実施して、市民に対して普及啓発を行う事業として計画をしている。

○うちエコ診断を平成 31 年度末までの 5 年間累計で 1,800 件を実施するとしている。

○札幌市主催の環境イベントの他、科学館、地下歩行空間で開催されるイベントに診断ブースを出展し、イベント診断にて診断を実施している。



札幌市まちづくり戦略
ビジョン・アクションプラン 2015
出典) 札幌市ホームページ

※1 市の行財政運営や予算編成の指針となる総合計画。

◆事業の目的

札幌市では、平成 27～31 年度（2015～2019 年度）を計画期間とした「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」を策定し、この中で、市民・企業による環境負荷低減の取組を推進するために、「さっぽろスマートライフ推進事業」を計画の中に位置づけている。

「さっぽろスマートライフ推進事業」では、低炭素社会を実現するため、ムダなく、かしく、省エネ・節電を楽しむさっぽろスマートライフが定着した街を目指して、うちエコ診断など各種取り組みを実施することで市民に対する普及啓発を行うとしている。

また、計画の具体的な評価指標として平成 31 年度末までに累計で 1,800 件の診断実施を目標として設定している。

◆取り組みに至る経緯

○東日本大震災後に再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの取り組みへ

東日本大震災の発生以降、当時の札幌市長から原子力発電に依存しない社会を目指すために、環境にやさしい再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの取り組みを進める指示があった。このもとで、省エネ対策をはじめ、考える対策を率先して実施することとなった。

札幌市の担当課では、うちエコ診断が家庭部門の対策として具体的な実践に繋がることから有効であるとの理解もあり、平成 24 年度の環境省うちエコ診断の試行事業で、北海道地球温暖化防止活動推進センターに診断実施を委託し、診断事業を実施したのが事業の始まりであった。

○「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」の検討

平成 25 年度に、札幌市の総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」の検討が始まり、計画の中で具体的な事業としてうちエコ診断を位置づけた。また、計画の中で評価指標として診断件数を設定した。

目標件数は、過去の実績を考慮し、実施可能な件数を積み上げて設定を行った。

○省エネ・節電キャンペーンから効果を期待できる家庭向けの取り組みとしてうちエコ診断へ

札幌市では、東日本大震災以前からも、市民向けの省エネ対策を積極的に進めてきた。

例えば、市民に省エネライフを宣言してもらう事業として「エコライフレポート」を実施していた。この事業では、エコ行動を記載したチェック表で、「実践する対策」、「既に実施している対策」にチェックをして宣言。宣言された項目で、削減できる CO₂ 量を積み上げ、この推定した CO₂ 量と同じ量を吸収できる木の植樹を実施する事業であった。

また、東日本大震災後に節電キャンペーンとして、電力検針票の数値が前年度より低い場合に、節約分に応じて抽選で景品をプレゼントしていた。

このような事業を実施する中で、うちエコ診断は家庭部門の対策として具体的な実践に繋がることから計画に位置づけられ事業の実施に繋がった。



札幌市節電・省エネキャンペーン
2014 冬ポスター
出典) 札幌市ホームページ

◆事業の実施内容

●事業の実施にあたっての連携先と連携内容

○民間事業者に診断業務を委託

札幌市では、診断実施機関としての診断業務（診断受付、日程調整、診断士の派遣）を民間事業者へ委託し、実施している。委託先となった民間事業者は、うちエコ診断実施機関の認定を取得し、「うちエコ診断士」の登録から診断業務を行う。

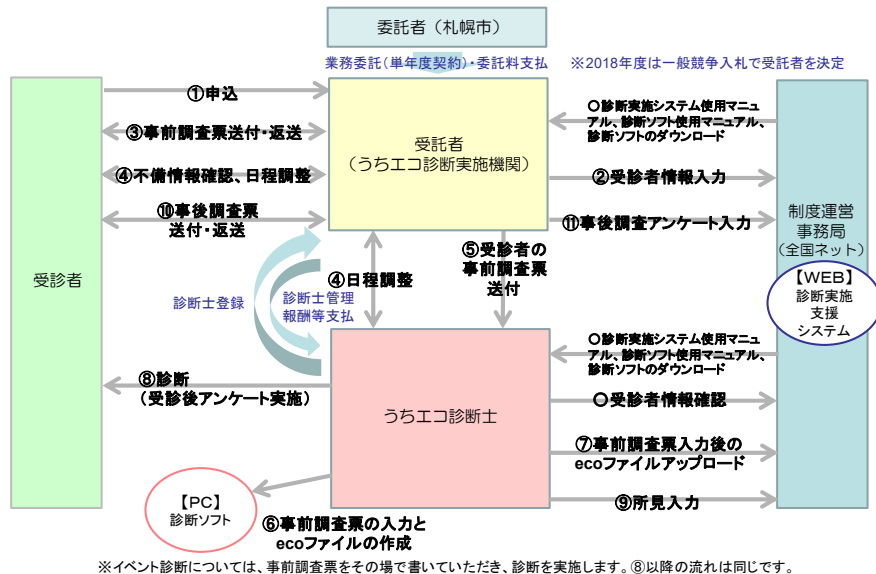
また、実際の診断を行う「うちエコ診断士」は、札幌市が独自に定める「札幌市うちエコ診断士制度運営要綱」に基づき、活動を行っている。

○うちエコ診断士の関連団体による広報の協力

うちエコ診断の受診者募集の際は、札幌市での広報のほか、うちエコ診断士が所属している団体による広報も行ってもらっている。

- ・特定非営利活動法人北海道グリーンファンド <http://www.h-greenfund.jp/>
- ・一般社団法人北海道消費者協会 <http://www.syouhisya.or.jp/index.html>
- ・北海道省エネまちづくり協会 <http://npohsk.org/>

● 取り組み体制



● 診断の実施方法

札幌市うちエコ診断では、主にイベントに出展しての診断で事業を実施している。出展するイベントは、2日間で2.5万人を超える札幌市主催の環境イベントの他、民間主催の体験型イベント、動物園、科学館、ショッピングセンター、札幌駅前通地下歩行空間等で開催されるイベントで、一般市民を対象に診断を実施している。

出展するイベントは、札幌市環境局が主催となっているイベントに限らず、一般の方が多く集まるイベント検討し、出展を行っている。

平成30年度は、合計で9つのイベントに出展を行った。出展したイベントの概要とそれぞれの診断件数は以下の通り。

平成 30 年度札幌市うちエコ診断 診断実績一覧

イベント名	開催場所	主催	開催日	診断件数	備考
環境広場さっぽろ	札幌ドーム	札幌市環境局	6月23日～24日	61件	来場者数：25,563名
次世代エネルギー広場	イオン発寒ショッピングセンター	札幌市環境局	7月7日～8日	21件	
ハローガス感謝祭	アクセスサッポロ	北海道エア・ウォーター	8月25日～26日	32件	来場者数：9,240世帯
COOL CHOICEイベント	円山動物園	札幌市環境局	9月2日	6件	
次世代エネルギー広場	イオン平岡ショッピングセンター	札幌市環境局	10月6日～7日	7件	
環境科学展	札幌市青少年科学館	札幌市青少年科学館	10月20日～21日	52件	
暮らしの省エネサポート広場	札幌駅前通地下歩行空間	札幌管工事業協同組合	11月29日～30日	54件	
サツドラFES	つどいむ	サツドラFES実行委員会	12月1日～2日	67件	体験型イベント 来場者数：2万人超
COOL CHOICE広場	札幌駅前通地下歩行空間	札幌市環境局	12月22日～23日	33件	

イベント時のブースの出展内容としては、診断コーナーと診断後に配布している啓発品（ノベルティ）を並べるコーナーを配置している。

また、イベント時の実施体制としては、来場者数やイベントの実施規模に応じて診断士を1日あたり1から3名配置し、診断士のサポートを行う人員を1名配置している。なお、来場者が多いイベントでは、さらに呼び込み人員を1から2名配置している。

● 受診者の募集方法

○札幌市ウェブサイトや広報誌への掲載

札幌市のホームページ上に「札幌市うちエコ診断」のページを設け、うちエコ診断の紹介や申し込み概要、過去の実施結果について掲載している。

また、札幌市の広報誌である「広報さっぽろ」に診断に記事を掲載して、診断の広報を実施している。記事の内容としては、冬前の省エネ特集など、うちエコ診断に関連する記事と一緒に掲載を行っている。（「広報さっぽろ」の発行部数は約103万部）

○子ども環境情報誌「エコチル」への掲載

「子ども環境情報紙」である「エコチル」※2で、省エネ特集の中で家庭内での取り組みに関する紹介記事として診断に関する内容を掲載してもらっている。

「エコチル」は、札幌市内では、札幌市内の公立小学校（203校）の他、札幌市内の児童館・ミニ児童館、札幌環境プラザ、北海道環境サポートセンターに配布されて、発行部数は10万部となっている。



出典「エコチル」
(2018年(平成30年)札幌版12月号)

※2 「エコチル」は、「子どもたちに環境に関心を持ってもらえる機会をつくろう」、「地域社会と学校、家庭をエコでつなぐプラットフォームになろう」という想いで2006年に創刊された小学生向けの「子ども環境情報紙」。2018年度現在、東京23区(東京版)、札幌市内(札幌版)、札幌市以外の道内178市町村(北海道版)の公立小学校に毎月57.5万部が小学生やその家族、教職員に配布されている。

○受診者へのノベルティの準備と声かけ

イベント会場では、啓発品（ノベルティ）を準備して、うちエコ診断受診後のプレゼントとして渡している。特に、親子連れの来場者へのアピールとして、ノベルティとしてバルーンアートを準備している。

イベント会場では、ノベルティの紹介とともに、来場者に個別に声かけをして受診を呼びかけている。

◆取り組みのポイント

1. 「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」
平成 27 から 31 年度（2015 から 2019 年度）の 5 年間を計画期間とした総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」の中で、「さっぽろスマートライフ推進事業」としてうちエコ診断が位置づけられている。
2. 多様なイベントへの出展
札幌市では、うちエコ診断の実施をイベント診断で行っており、札幌市環境局が主催となっているイベントの他、民間主催の体験型イベント、動物園、科学館、ショッピングセンター、札幌市駅前通地下歩行空間等でのイベントに出展し、来場者を対象に診断を実施。特に、一般の人が多く集まるイベントに出展することで、受診者を確保することができた。
3. 診断実施機関業務の委託
診断事業の実施にあたっては、民間事業者に診断実施機関の役割を委託し、そこにうちエコ診断士を登録することで事業を運用している。

◆今後の展望

「さっぽろスマートライフ推進事業」として、診断実施件数の目標は平成 31 年度（2019 年度）までに累計 1,800 件となっているが、平成 30 年度末まで 1,610 件の実績があり、目標を達成できる見込みとなっている。

【札幌市担当者のコメント】

平成 31 年度は引き続き、「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」の目標である診断件数（2019 年度末までに計 1,800 件）の達成に向け、うちエコ診断を実施していくとともに、今後については、札幌市として家庭部門における温暖化対策をさらに推進していくためにうちエコ診断も含めて、より効果的な事業の実施を検討していきたい。

●事業予算額

平成 30 年度 2,100 千円（1 件あたり 7,000 円×300 件）

5 年間の計画事業費は、133 百万円

(※平成 30 年度実績：税込 7,560 円×333 件=2,517,480 円(不足分は他事業から流用))

● 診断実績

平成 25 年度から平成 30 年度までの診断実績

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
診断数 (世帯)	150	225	197	300	261	333
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂ /年・世帯)	1,125	813	1,022	648	678	1,024
CO ₂ 削減率 (%)	14.8	13.7	19.2	11.2	11.8	16.8
光熱費削減額 (円/年・世帯)	61,420	41,982	52,687	30,003	33,842	42,807

※3 平成 30 年度の CO₂・光熱費の削減効果は算定中。

◆ 事業実施の様子

イベント出展の様子



ハローガス感謝祭での出展の様子-①



ハローガス感謝祭での出展の様子-②



ハローガス感謝祭での出展の様子-②



暮らしの省エネサポート広場での様子-① 暮らしの省エネサポート広場での様子-②

◆広報物等

見直そう我が家の省エネ!

札幌市 うちエコ 診断

Let's
スマート!



Let'sスマート
アドバイザー
石井ちゃん

診断の効果 (平成27年度)
エネルギー削減率 **19.2%**
節約金額は年間約**5万円**

無料

家庭の省エネに詳しい「うちエコ診断士」が、
あなたの暮らしに合わせた省エネ有効策を提案します。

札幌市
ホームページ
入力フォーム

札幌市うちエコ診断

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/shindan/index.html>

SAPP_RO
札幌市環境局

■お申込期間 **平成28年12月25日**まで

■お問い合わせ・お申込先は
札幌市コールセンター ☎011-222-4894 FAX.011-221-4894
info4894@city.sapporo.jp (土日を含む毎日 AM8:00~PM9:00 まで受付)

見直そう 我が家の省エネ!

はじめよう、省エネ・節電を楽しむ暮らし方。

札幌市 うちエコ 診断

診断の効果
(平成28年度)
エネルギー削減率 **11.2%**
節約金額は年間約**3万円**

Let's スマート!

つながるスマートシティ プロジェクト



無料

家庭の省エネに詳しい「うちエコ診断士」が、
**あなたの暮らしに合わせた
省エネのポイントを提案**します。

札幌市ホームページ

札幌市うちエコ診断

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/shindan/index.html>

お申し込み期間 **平成29年12月25日(月)**まで

お問い合わせ・お申し込み先は
札幌市コールセンター ☎011-222-4894 FAX.011-221-4894
info4894@city.sapporo.jp (土日を含む毎日 AM8:00~PM9:00 まで受付)

SAPP_RO
札幌市環境局

2. 企業・団体による優良事例

北海道ガス株式会社

顧客へのアフターサービスとして、グループ会社で診断を実施

◆取り組み概要

○北海道ガス株式会社では、顧客へのアフターサービスの一環として、顧客宅への訪問機会や各種イベントを活用して、うちエコ診断を実施している。

○北海道ガス株式会社の都市ガス供給エリアである、札幌市、小樽市、千歳市、函館市、北見市を中心に診断を実施しており、グループ全体で 157 名のうちエコ診断士が活動を行っている。

(平成 30 年 3 月時点)

◆事業の目的

暖房のエネルギー使用量が多い北海道で、省エネや省 CO2 の観点から省エネ機器や生活改善を中立的に提案する新しいエネルギーサービスとして診断事業を実施している。

◆取り組みに至る経緯

○北海道の住宅における CO2 を削減

北海道の既設住宅では灯油を使用した給湯暖房設備が多く、CO2 の発生量が少ない天然ガスを使用する設備への更新提案を積極的に行っている。

○中立的な立場で省エネ機器やライフスタイルの改善のアドバイスを実施

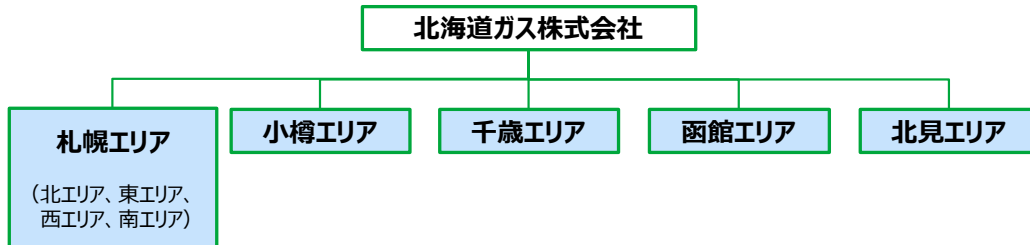
うちエコ診断では、提案する天然ガス機器を中立的に評価できるため、お客さまの更なる安心感・納得感につながる。さらに、設備更新以外の様々な生活改善アドバイスにより省エネ・省 CO2 をお客さまに提供できることから実施を検討した。

○新しいエネルギーサービスとして活用

うちエコ診断を活用した新しいエネルギーサービスとして、お客さま満足度向上の検証を行うため診断事業を開始した。

◆事業の実施内容

●取り組み体制



- ・グループ会社の窓口やショールーム等で診断の実施
- ・157名の診断士を養成、登録

●診断の実施方法

各種イベントでのイベント診断や、機器リニューアルのタイミングを活用した訪問診断を実施している。

●受診者の募集方法

各種イベントの案内状やグループ会社の窓口・ショールーム等に来訪した人にうちエコ診断の PR を実施している。

チラシの配布部数は概ね 8 万部/年となっている。(イベント事前配布チラシにつき来場者以外にも配布している)。

◆取り組みのポイント

1. 各種イベント、会社窓口・ショールーム等での PR を実施
各種イベント案内状やグループ会社の窓口・ショールーム等への来訪者にうちエコ診断の PR を実施。
2. お客さまへのアフターサービスの一環として診断を実施
家庭用のお客さまのうち、エネルギー使用量の多い一戸建ての方をメインターゲットとしている。
機器のリニューアルのタイミングを活用したお客さま宅への訪問時に、うちエコ診断を実施。
3. 北海道ガス株式会社のグループ全体として診断を実施
グループ全体で 157 名のうちエコ診断士を養成、登録している。特に既存の診断士に対しては、スキルアップ研修会の機会に、うちエコ診断を切り口としたお客さまとの関係づくりや、訪問時の留意点などについて情報共有をしている。

◆ 今後の展望

より効果的かつ効率的な運用ができるようタブレットやスマホアプリの対応を事務局に要望していく。また、診断士の体制を縮小して制度を利用していく予定。

● 診断実績

平成 28 年度 605 件
平成 29 年度 741 件
平成 30 年度 425 件

◆ 広報物等

KITAGAS
フレアスト北
TEL.011-733-2010

THANKS FESTIVAL
2019

大感謝祭

2/9(土) ▶ 10(日)
10時~17時 ▶ 10時~16時

大感謝祭の2日間 野菜販売いたします!

※なくなり次第終了しますので、品切れの際はご容赦願います。
※野菜は天候、収穫の都合で変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

10万円以上お買上げの方
ご成約大抽選会

1等 **20,000円分**
JCBギフトカード

2等 **5,000円分**
JCBギフトカード

3等 **500円分**
野菜販売で使用できる お買物券

大抽選会について、詳しくは会場の担当へご確認ください。
※ご来場なしでお電話等のご注文の場合は、ご成約大抽選会・ご来場プレゼントの対象外となります。※JCBギフトカードは、フレアスト北 [2019大感謝祭] 終了後の商品納入時とさせていただきます。

同時開催

エイジフリーショップ展示会

日時 2月 9日(土) 10:00~17:00
2月10日(日) 10:00~16:00

会場 札幌サンプラザ 3階松の間

福祉リフォーム・介護用品の相談は当店にお任せ!! 福祉用具専門相談員が説明いたします。

あなたの聞こえを徹底サポート
補聴器もおまかせ

聴力測定 聞こえの状態を測定し、ご説明します。

試聴 補聴器をお試しいただき、違和感などをしっかりとチェックします。

ご購入後のメンテナンスもおまかせください。ご自宅にも無料でお届けいたします。

1人ひとりの生活を応援
「販売者」と「高齢者」を繋ぎたい

専門店ならではの「フィッティング」

ご来場の際は「ご来場のこと」「お家のこと」

組み立てや入金を大任します。 送料や手数料等は別途お見積りいたします。

大感謝価格 コンロとレンジフードをセットでお求めの場合 **5,000円お得!**

Paloma
ガススタップビルトインコンロ PD-600WS-60CV
●希望小売価格 149,040円
+標準工事費 19,440円=168,480円のところ

●工事費コミコミ価格

Takara standard
レンジフード VRAS-E601AD(R/L)
●希望小売価格 108,540円+前払材料費 16,200円
+標準工事費 32,400円=157,140円のところ

●工事費コミコミ価格

Rinnai
ガススタップビルトインコンロ RS31W28012RVW
●希望小売価格 147,960円
+標準工事費 19,440円=167,400円のところ

●工事費コミコミ価格

レンジフード TLR-35-AP6015V
●希望小売価格 111,240円
+標準工事費 32,400円=143,640円のところ

●工事費コミコミ価格

NORITZ
ガススタップビルトインコンロ N3WQ6RVTSK1
●希望小売価格 157,680円
+標準工事費 19,440円=177,120円のところ

●工事費コミコミ価格

レンジフード NF-G651 3MS(R/L)
●希望小売価格 108,000円+標準工事費 32,400円=140,400円のところ

●工事費コミコミ価格

※他の割引等との併用は不可となります。

コンロご成約特典
グリルオプション品を
もれなくプレゼント!

Paloma 専用
La'coco
Rinnai 専用
Cook box

北ガスグループのお客さまサービス!!

エコうちエコ診断
約20分

環境省認定のうちエコ診断士が、お客さまの暮らしにあった、ムリのない省エネ方法を提案いたします。※詳しくは会場の担当へお申しつけください。

契約件数136,000件を突破!
※11/2019年1月7日現在

北ガスの電気
お申込受付コーナー

お申込時間 約10分

ご相談の際、ご自宅に置いてある電気の検針表をご持参ください!

ご来場プレゼント!
ボックスティッシュ 5個1パック

引換券
ボックスティッシュとの引換券。こちらの引換券を会場の担当へご提示ください。既に引換券をお持ちの場合は、予めご了承ください。

株式会社ビルド

お客様に良いものを提案するためにうちエコ診断を実施

◆取り組み概要

○株式会社ビルドでは、太陽光発電設備、HEMS 機器、オール電化、節水型便器、内窓、その他の住宅設備機器類の販売及び施工に関わっており、顧客に省エネ機器を提案する際や、既存顧客へのサービスとして、診断サービスを実施している。

○店舗に来場したお客様の他、設備のショールームでのイベント時に診断を紹介している。

○既存のお客様宅での設備の修理の際にうちエコ診断を紹介することで、その後約 8 割が受診に繋がっている。

◆事業の目的

株式会社ビルドでの方針実際に体験してみて良いものをお客様に提案している。
お客様サービスとして、うちエコ診断を実施し、その後のリフォームや設備の買い替えについての提案につなげている。

◆取り組みに至る経緯

○スキーをきっかけに地球温暖化防止へ

株式会社ビルドの取締役である三星氏は、長年スキーをやってきており、山から雪が少なくなっていることを感じて、地球温暖化防止に興味を持った。前の地球温暖化防止活動の国民運動である「チーム・マイナス 6%」に協力し、会社としても、太陽光発電設備をはじめ、節水型便器など省エネ設備を多く扱い、お客様にも省エネ効果と合わせて提案している。

○家庭に対する省エネ設備を提案できるツールとして業務に活用

うちエコ診断では、診断の中で省エネ設備を扱っており、ソフト上では省エネ効果が具体的な数値で出てくるため、省エネ設備の提案業務に活用できると考え、事業を開始した。

○2015 年度住宅エコポイントでのリフォームの提案として開始

さらに、診断事業を開始した当初は、2015 年度住宅エコポイントが開始された時期であったため、お客様にリフォームの提案をする際に、費用の他、CO₂ 排出削減の観点からも診断を通じてアドバイスが実施でき、活用できるとして事業を開始した。

◆事業の実施内容

●事業の実施にあたっての連携先と連携内容

○関連会社との連携

株式会社ビルドでは、住宅リフォーム関連で工事をお願いしている関連会社が 40 社ほどあり、関連会社でうちエコ診断士の資格を取得した人を株式会社ビルドの診断士として登録し、活動をしてもらっている。

○商品の展示会やショールームでの連携

商品を扱っている会社での商品展示会やショールームでのイベントで出展する際に、来場者に対して診断事業の広報を行っている。

●診断の実施方法

株式会社ビルドでは、顧客宅への来訪した際か、店舗にお客様が来訪した際に診断を実施している。

●受診者の募集方法

○営業セットでのチラシ等の配布

株式会社ビルドでは、会社概要や事業の紹介用の営業セットの中で、うちエコ診断のチラシを作成し、入れて配布している。



株式会社ビルドの営業セット



株式会社ビルドの営業セット（中身）

○毎日の営業での紹介

株式会社ビルドでは、毎日の営業の際や、店舗への来訪者や既存顧客を含めて1か月で50くらいのユーザーに営業セットを渡している。また、イベントでのブース出展の際は、お客さんにパンフレットを配布するなどして、紹介している。

○既存顧客への声かけ

株式会社ビルドの顧客としては、7,000人ほどおり、継続的に繋がっている人は2,000人ほどいる。顧客に対しては、機器の修理に行った際に診断を紹介し、診断に興味があれば受診調査票に記載してもらうという流れで実施している。

顧客とは長い関係の中で関係が出来ており、機器の修理からうちエコ診断の受診の割合は約8割となっている。

◆取り組みのポイント

1. お客様との関係づくりのツールとして活用
株式会社ビルドでは、顧客との長い関係づくりのためのツールとしてうちエコ診断を活用しており、既存顧客へのサービスとして診断を実施している。
2. 毎日の営業の中で診断を紹介
株式会社ビルドでは、営業ツールを常に準備しており、営業ツールを毎日の営業やショールームでのイベント時に配布し、診断を紹介している。

◆今後の展望

2019年度は、住宅エコポイント事業が開始されるため、住宅エコポイントと合わせてリフォームの提案する際にうちエコ診断を実施する予定である。

また、会社として診断の体制をさらに強化するために、女性の診断士も増やしたり、pマークを取得したりといった取り組みを進め、さらなる診断の実施を目指している。

無料

うちエコ診断

受診者
募集!



お家を診断して省エネ対策!

「うちエコ診断」は、家庭の地球温暖化対策を推進するため、環境省が行っている取り組みです。専門家が、あなたの家のどこから・どれだけCO₂が出ているのか調べ、省エネ対策を提案します。

うちエコ診断とは?

各家庭のCO₂排出量を診断

各ご家庭でどの行動で、どの機器からどれだけ二酸化炭素(CO₂)がでているかを診断し、お知らせします。

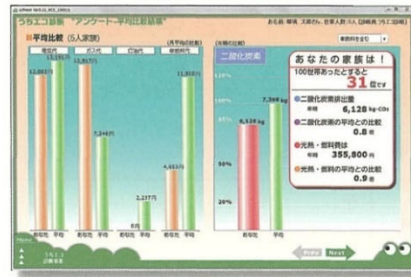
環境・エネルギーの専門家が診断します

うちエコ診断士は、温暖化防止活動推進員、太陽光発電の専門家等の環境・エネルギーの専門家の中で、うちエコ診断のノウハウについて講習を受け、試験に合格したエキスパートです。

ご家庭でできる対策・行動を提案します

事前の問診表をもとに専用ソフトで解析を行い、各家庭の状況に応じた有効なCO₂排出削減対策を“オーダーメイド”で提案します。

あなたの順位は平均家庭と比較して何位?
CO₂排出量の平均比較



効果的な省エネ対策を検討し、実施すると...



パソコンを見ながら
診断ソフトで分析!



家庭エコ診断制度「うちエコ診断」

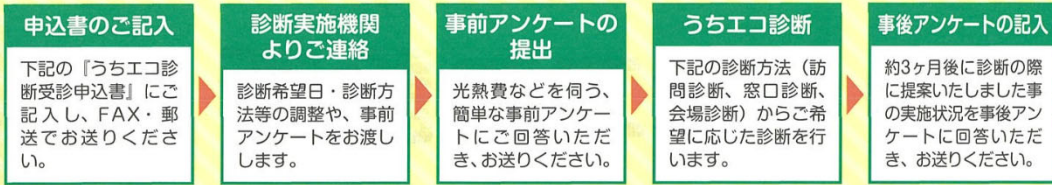
株式会社 ビルド うちエコ診断実施機関

TEL. 045-934-1589 FAX. 045-931-5091

bild3838@bild.co.jp



『うちエコ診断』の流れ



訪問診断

うちエコ診断士がご自宅を訪問します。診断士が無断で室内を見て回ることはありませんが、正確な状況把握のため、予めお許しをいただいた上で家電の性能や家屋の状況を確認することもございます。診断中及び診断結果の印刷に際しては、パソコンとプリンター用の電源をお借りいたしますのでご協力をお願いいたします。



窓口診断

うちエコ診断実施機関で診断を行います。事前にお伝えした日時に、うちエコ診断実施機関までお越し下さい。なお、交通費の支給は致しかねます。できる限り公共交通機関を使用してお越し下さい。



会場診断

公民館など期間限定で開設する特設会場にて1対1の対面診断を行います。会場診断に関しては、うちエコ診断実施機関に実施の有無を含めてご確認ください。



診断料

無料

申込方法

電話・FAXでお申込み先までお送りください。

※診断日はご相談の上決定いたします。

『うちエコ診断』受診申込書

確認しました。

下記の『うちエコ診断事業に関する注意事項』をご確認いただいた上、 を付けて頂き、氏名、連絡先をご記入頂きますようお願いいたします。

ふりがな			ご年齢	(いずれかに○をつけてください) 30歳未満・30代・40代・50代・60歳以上
お名前				
ご住所	〒□□□-□□□□			
世帯人数	人	受診者属性	(いずれかに○をつけてください) ①一般のお客様 [直接・紹介者名] ②ビルド取引先様 [紹介者名] ③ビルド社員およびご家族様 [社員所属]	
TEL	※診断日の調整などご連絡させていただく場合があります。日中連絡が取れる番号をご記入ください。			ご希望の診断場所 (いずれかに○をつけてください) ①窓 口：ビルド店舗 ②ご自宅：受診者様のご自宅 ③会 場：イベント会場 ※時間により開催していない場合があります ※②③については、後日改めてご相談させていただきます。
FAX				
E-mail (任意)	※電話が通じない場合、メールにてご連絡させていただく場合があります。			

【うちエコ診断事業に関する注意事項について】

- ①本事業における個人情報の取り扱いについて
うちエコ診断に関わる診断実施機関及び診断士は、本事業で収集するすべての個人情報の取り扱いにあたっては、個人情報の保護に関する法令を遵守し、以下に掲げる目的のみに使用いたします。また、収集した個人情報を環境省および家庭エコ診断制度運営事務局以外の第三者に開示・提供することはありません。
- (1)うちエコ診断実施に伴う連絡調整業務 (2)うちエコ診断の事前調査業務
(3)うちエコ診断の診断実施業務 (4)うちエコ診断の事後調査業務
(5)うちエコ診断結果及び効果検証のための各種データ分析業務
- なお、本事業の性格上、分析結果を公表するなど、外部公開する場合には、個人を特定出来ない匿名措置を施した上で公開するものとします。
- ②特定商品等の紹介について
うちエコ診断では、特定商品の紹介等を行いません。ただし、受診される方からの依頼があった場合に限り、紹介等させていただくことがあります。

うちエコ診断のお申込み・お問合せは…

株式会社ビルド うちエコ診断実施機関

TEL. 045-934-1589
FAX. 045-931-5091

〒226-0012 神奈川県横浜市緑区上山1-14-11
bild3838@bild.co.jp

うちエコ診断のお申込み・お問い合わせは・・・

株式会社ビルド



うちエコ診断実施機関

〒226-0012

神奈川県横浜市緑区上山1-14-11

TEL: 045-934-1589

FAX: 045-931-5091

✉ **bild3838@bild.co.jp**

うちエコ診断活用事例集

発行 平成 31 年 3 月

問合せ先 一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット
(家庭エコ診断制度運営事務局)

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町 1-12-3 第一アマイビル 4 階

TEL 03-6273-7785 FAX 03-5280-8100

URL <http://www.uchieco-shindan.jp>

うちエコ診断活用事例集

発行 2023年3月

問合せ先 家庭エコ診断制度運営事務局

(一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット)

〒102-0074

東京都千代田区九段南 3-9-12 九段ニッカナビル7階

TEL 03-6273-7785 FAX 03-3263-1010

URL <https://www.uchieco-shindan.jp>